

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和5年度）

（事業所名）津田金属熱煉工業㈱

1 環境保全活動に関する方針等

1－1 環境保全活動に関する方針

- ・社内各部門において、社内使用の設備購入時には環境負荷低減につながる製品を選定する。
- ・配送効率を見直し、トラックの台数を削減。
- ・待機中のトラックのアイドリングをストップ。
- ・廃棄物の分別を徹底し、廃棄物発生の低減も進める。

（目標・計画等の公表の方法についても記載すること）

1－2 環境保全活動に関する組織体制

津田金属熱煉工業㈱高砂工場

工場長



製造課長

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
環境対策	・フォークリフトは電気式フォークリフトを採用する ・屋外での使用頻度の高いフォークリフトは電気式を利用する。	・エンジン式のフォークリフト買い替えの時期には、電気式フォークリフトを採用する。
自動車公害対策	・社有車にはハイブリット車を利用することで排気ガスによる公害の低減をする。	・今後も社有車の選定には低公害車を採用する。
環境対策	・緑地スペースを確保。 ・緑化の維持。	・対象となる箇所を検討し、緑地スペースの拡充をはかる。
エネルギー対策	・効率の良い操炉運用を行い、燃焼効率をあげる。	・非効率作業の見直しや改善にてムダを省く。
エネルギー対策	・コンプレッサーの運転状況を遠隔でも確認し運転効率をあげる。	・適切なメンテナンスを行い、高効率を維持する。
エネルギー対策	・事務所棟及び厚生棟に太陽光発電の設置を検討	・技術面や予算面での検討を行う。